

自動車会議所 ニュース

発行所



一般社団法人 **日本自動車会議所**
Automobile Business Association of Japan

☎105-0012

東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館

電話：03(3578)3880

FAX：03(3578)3883

URL

<https://www.aba-j.or.jp>



2023

5

No.949

発行人 山岡 正博

編集人 田村 里志

楽しみながら学べる体験型交通安全啓発イベント 「交通安全。アクション2023 新宿」



43の団体・企業などが参画し、4月8日、9日に開催

2日間で4,600名が来場

ピーボくんファミリー、てんけんくん、ナスバちゃんも登場したオープニングセレモニー

日 本自動車会議所は4月8日（土）、9日（日）の両日、東京・新宿区の「新宿駅西口広場イベントコーナー」で、交通安全の大切さやルールを楽しく学べる体験型交通安全啓発イベント「交通安全。アクション2023 新宿」（以下、「アクション2023」）を開催しました。「交通安全。アクション」の開催は2021年12月以来で、春の開催としては4年ぶりです。

初日8日のオープニングセレモニーで挨拶に立った当会議所の山岡正博専務理事は、「自動車業界は100年に一度の大変革期の真っ只中におり、カーボ

ンニュートラル実現やクルマの電動化等に取り組んでいますが、『交通死亡事故ゼロ』という究極の目標に向けても業界全体で取り組んでいます。ようやく、このような啓発イベントを実施できる機会ができましたので、是非とも成功させましょう」と呼び掛けてイベントがスタートしました。

「アクション2023」は新型コロナウイルス感染症対策に十分に留意しながら、43の団体・企業などが参画して開催され、2日間で約4,600名が来場し、趣向を凝らしたブースプログラムなどを体験しました。（イベントの様子は4～6ページに掲載）

◆◆ 主な内容 ◆◆

- 第2回道路・交通委員会開催 2
- 第290回会員研修会開催 7
- 「交通安全。アクション2023 新宿」詳報 4
- 第89回定時総会開催のご案内 7

（主な記事はホームページ=<https://www.aba-j.or.jp>=にも掲載しています）

令和4年における交通事故の主な特徴等について



警察庁交通企画課の尾野課長補佐が講演

第2回道路・交通委員会開催

写真内は尾野課長補佐

日 本自動車会議所は3月30日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ」会議室で、2022年度第2回道路・交通委員会（委員長＝榊野龍二・全日本トラック協会理事長）を開催しました。委員会は会場とリモートのハイブリッド形式で開催され、まず山岡正博専務理事が新委員3名を紹介。続いて榊野委員長が挨拶し、「自動車業界は現在、カーボンニュートラルの実現やGX、DX技術を活用した働き方改革など多くの課題に前向きに取り組んでいます。今回お話しいただく交通安全はまさしく自動車業界として何よりも重点的に取り組むべき課題です。今日は警察庁より令和4年中の交通事故の主な特徴等についてご講演いただき、今後の交通安全活動に役立てていきたいと思っております」と委員会の主旨を説明しました。

委員会では、警察庁交通局交通企画課の尾野裕一郎課長補佐が「令和4年における交通事故の主な特徴等について」をテーマに講演し、去年の交通事故の状況や特徴等を説明しました。講演後、委員からは交通事故統計の内容についての質問や、サポカー普及に関する要望が述べられました。最後に、事務局より4月8日、9日の両日、東京・新宿区の新宿駅西口広場イベントコーナーで開催される「交通安全。アクション2023 新宿」の開催概要の説明があり、榊野委員長から委員団体の協力に感謝の意が伝えられ、委員会は終了しました。

【講演概要】

■令和4年における交通事故の主な特徴等について

講師：警察庁交通局交通企画課

課長補佐 尾野 裕一郎氏

令和4年中の交通事故死者数は2,610人と6年連続で最少を更新しましたが、減少率は1%にとどまっているほか、30日以内の死者数は7年ぶりに増加に転じるなど、交通事故をめぐる情勢は決して楽観視できるものではありません。引き続き官民一体となった交通安全対策を実施していく必要があります。

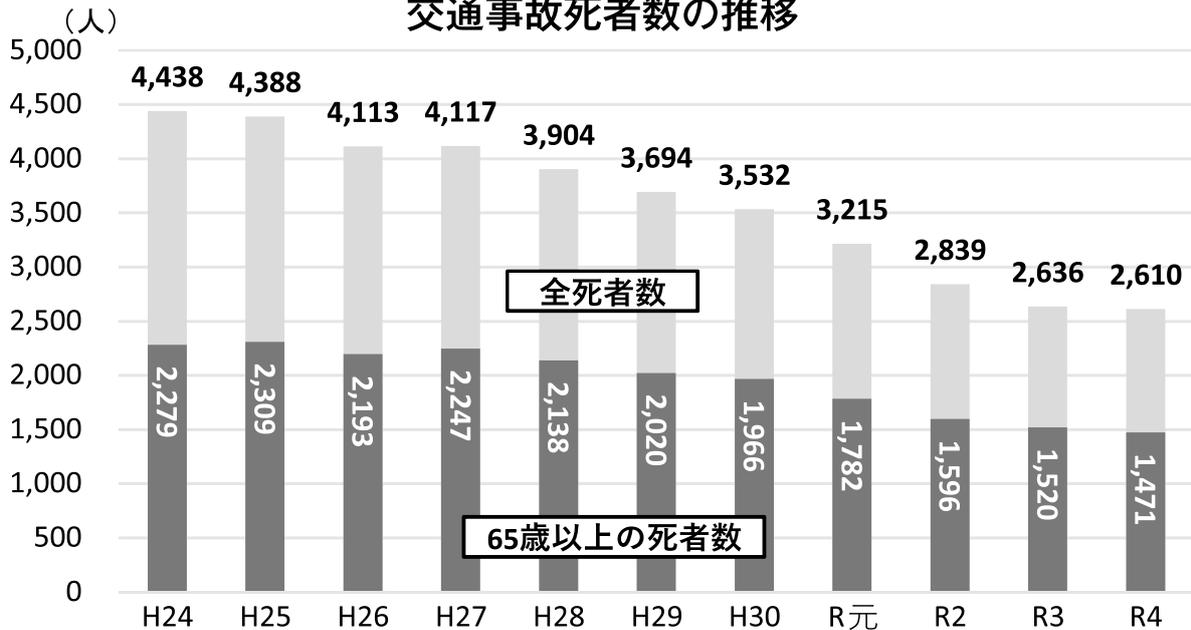
歩行中の死者数の状況は65歳以上の高齢者が7割を超えており、横断歩道以外を横断中の事故が多くなっています。

自転車関連の交通事故の状況については、本年4月1日より全年齢層を対象に自転車乗用中のヘルメット着用が努力義務化されますが、ヘルメット非着用時は、着用時と比べ約2.6倍致死率が高くなります。皆さまには、職場の方やご家族に対し、ヘルメット着用の重要性を是非お伝えいただきたいと思っております。

次に、自動車乗車中の死者数の状況については、シートベルト非着用の場合、着用時と比べ約14.4倍致死率が高くなっており、シートベルトの被害軽減効果は明らかです。自動車乗車中は全ての座席で確実なシートベルトの着用が望まれます。

高齢運転者による交通死亡事故件数の推移です

交通事故死者数の推移



高齢者の割合	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
	51.4%	52.6%	53.3%	54.6%	54.8%	54.7%	55.7%	55.4%	56.2%	57.7%	56.4%

【参考】

高齢者の人口 (千人)	30,792	31,899	32,999	33,866	34,590	35,151	35,580	35,884	36,027	36,213	—
全人口に占める 高齢者の割合	24.1%	25.1%	26.0%	26.6%	27.3%	27.7%	28.1%	28.4%	28.6%	28.9%	—

(注) 人口は、総務省統計資料「人口推計」(各年10月1日現在人口。補間補正を行っていないもの。)による。

出典：警察庁交通局「令和4年における交通事故の発生状況について」より

が、75歳以上の高齢運転者による死亡事故件数は、令和3年に比べ33件増加したものの、長期的には減少傾向にあります。なお、免許保有者10万人当たりでは、75歳以上の高齢運転者による死亡事故件数は75歳未満より2倍以上多い状況です。

一方、運転技能検査制度の導入やサポカー限定免許の新設など各種の高齢運転者対策により、長期的な減少幅は75歳未満より大きくなっています。事故の人的要因では、ハンドルの操作不適やブレーキとアクセルの踏み間違いが75歳未満より多くなっています。

次に、児童(小学生)に関する交通事故発生状況については、歩行中の死者・重傷者数のうち、登下校中におけるものが約4割となっており、数は減少傾向にあるものの、構成率は増加傾向にあります。特に4月は入園・入学のシーズンであり、児童に対して日頃から正しい横断方法など、交通ルールを繰り返し教えることが重要です。

飲酒運転による交通事故の状況については、減少傾向にあり、10年前の平成25年と比べると概ね半減していますが、死亡事故率は、飲酒以外の事故より

約7.1倍高いことがわかります。

電動キックボードに関する交通事故は、令和2年から4年までの3年間に74件発生しました。なお、本年7月1日から特定小型原動機付自転車(いわゆる電動キックボード等)に関する改正道路交通法の規定が施行される予定です。警察庁ウェブサイトにて新たな交通ルール等が説明されていますので、是非ご一読下さい。

警察庁における交通安全の取組例として、「交通安全ポスター・リーフレット」による広報啓発活動や、小・中学生を対象とする「交通安全ファミリー作文コンクール」、交通事故被害者等が回復に向けて再び歩み出すことができるような環境を醸成することを目的とした「交通事故被害者サポート事業」を実施しておりますので、この機会に紹介させていただきます。

最後に、警察庁として、より安全で快適な交通社会の実現に向けて、悲惨な交通事故を1件でも減らすという強い決意の下、皆さまと連携しながら交通事故防止対策を強力に推進していきますので、引き続き積極的なご協力をよろしくお願いいたします。



「交通安全。アクション2023 新宿」

12の体験型ブース プログラムを用意

家族連れに大人気だった「ピーボくんファミリーとの撮影会」(警視庁新宿警察署)㊤

スタンプラリーの発着場でもある「総合受付」。子どもたちにとってガチャガチャはスタンプラリーの楽しみの一つ㊤

交 交通安全。アクション2023 新宿」は日本自動車会議所と警視庁新宿警察署との共催で、内閣府、国土交通省、警察庁、警視庁交通部、東京都が後援し、当会議所の会員団体をはじめ、開催の趣旨に賛同する43の団体・企業などが参画して開催されました。「高齢者・幼児／児童を重点対象とし体験を通じて交通社会のルールや安全行動の大切さを啓発する」をテーマとし、交通安全の大切さやルールを楽しく学べる12の体験型ブースプログラムを用意しました。

ステージプログラムでは、警視庁音楽隊ミニコンサートや、警視庁のマスコットキャラクターのピーボくんファミリーも出演した交通安全教室・撮影会なども行われ、たくさんの家族連れが参加しました。交通安全グッズなどがプレゼントされるスタンプラリーも実施し、スタンプラリーのチラシを持った子どもたちがいくつものブースをまわる姿が至る所で見られ、小さな子どもから高齢者まで多くの来場者が「アクション2023」を楽しみました。

「交通安全。アクション」は2001年以来、毎年行われてきましたが、コロナ禍により2020年は開催が見送られました。2021年は春の実施予定が同年12月に延期のうえ、規模を縮小して開催。恒例となっていた春の開催は4年ぶりとなります。

日本自動車会議所は、引き続き本イベントなどの開催を通じて、交通安全運動の推進に取り組んでまいります。

◇実施概要は次のとおりです。



【開催日時】

2023年4月8日(土)・9日(日) 2日間
 ・8日(土) 12:00～17:00
 ・9日(日) 11:00～16:00

【開催場所】

新宿駅西口広場イベントコーナー
 (東京都新宿区西新宿一丁目地先)

【主催】

日本自動車会議所、警視庁新宿警察署

【後援】

内閣府、国土交通省、警察庁、警視庁交通部、東京都

【開催趣旨】

モビリティ関連の業界全体に共通する課題である「交通安全意識の育成」を広く一般社会の皆さまに周知するため、モビリティ業界と官公庁が連携し参加体験型のイベントを実施する。

【開催目的・テーマ】

高齢者・幼児／児童を重点対象とし体験を通じて交通社会のルールや安全行動の大切さを啓発する。

「交通安全。アクション2023 新宿」 会場風景



警視庁音楽隊
交通安全ミニコンサート



主催者（警視庁新宿警察署、日本自動車会議所）による
交通安全教室



「メカドルゆき」の
くるま点検ワンポイントアドバイス



白バイ展示・交通安全グッズ配布
（警視庁新宿警察署／新宿区）



首都高バイク（黄バイ）展示
（首都高速道路／首都高速道路厚生会）



ナスギャラリー／アセスメント展示／動体視力測定
（自動車事故対策機構〈ナスバ〉）



歩行者シミュレーター
（東京都生活文化スポーツ局）



自転車シミュレーター
(東京都生活文化スポーツ局)



てんけんくんぬりえ体験コーナー
(日本自動車整備振興会連合会)



交通安全にはまず洗車 きれいなクルマで安全ドライブ
(自動車用品小売業協会)



電動車いすの安全利用
(電動車いす安全普及協会)



ライディングシミュレータ&ゲンチャレ
(日本二輪車普及安全協会)



子ども安全免許証
(日本自動車連盟〈JAF〉)



運動能力年齢診断
(共同ブース/イーティエフ)



ナスバギャラリー前で取材するフランス国営テレビの
スタッフ。NHKなど多くのメディアが取材に訪れた



日本自動車会議所は4月18日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ」会議室で第290回会員研修会を開催しました。リモート配信も併用し、全国から約60名が参加しました。



小見門 恵氏

今回は「モビリティ・デザインとイノベーションによる新たな価値創造」をテーマに、講師にはKPMGモビリティ研究所所長の小見門恵氏、同プリンシパルの倉田剛氏の2氏を迎えました。同研究所は、当会議所



倉田 剛氏

主催「第2回クルマ・社会・パートナーシップ大賞」(CSP大賞)において、地域におけるMaaSの取り組みが評価され、十勝バス(北海道帯広市)とともに共同応募事業者として大賞を受賞しています。

講演では、最初に小見門所長が研究所について紹介した後、「地方の交通弱者救済などモビリティを中心とした社会課題解決のため、新たなエコシステ

令和5年「春の叙勲」

当会議所関係者5氏が受章

令和5年春の叙勲で、当会議所の会員団体・企業関係者5氏が晴れの栄誉に輝かれました。

- ◇旭日大綬章
 - ・廣瀬 道明氏：元日本ガス協会会長
- ◇旭日重光章
 - ・二宮 雅也氏：元日本損害保険協会会長
元損害保険ジャパン日本興亜社長
- ◇旭日中綬章
 - ・林 文子氏：元東京日産自動車販売社長
元横浜市長
- ◇旭日小綬章
 - ・佐藤 良也氏：福島県自動車会議所会長
- ◇瑞宝中綬章
 - ・名尾 良泰氏：元日本自動車工業会
副会長・専務理事

ムをつくることが重要」と強調。その成功事例として、CSP大賞受賞プロジェクトを説明しました。

次いで倉田氏が2050年カーボンニュートラルの実現に向けて「自動車産業などでイノベーションの創出が不可欠」と提言。日本社会で求められている意識調査にも触れ、「都市部では歩行者に優しい街づくりへの要望が高く、地方部ではモビリティへの改善要望が高い」などと指摘しました。

その上で、モビリティ・イノベーションのカギとして「自動運転」を取り上げ、「日本の技術は世界の先端を走りながらも、社会実装・事業化では世界に後れを取っている」として、今後さらなる官民連携の実証が進むことに期待を示していました。

第89回定時総会開催のご案内

日本自動車会議所は6月16日、第89回定時総会を下記の通り開催いたします。総会ではオンライン(Zoom)を併用し、「2022年度事業実績・2023年度事業計画」など3議案を審議いただきます。また、総会に引き続き理事会を開催いたしますが、総会・理事会終了後には、立食形式での懇親会も予定しております。

記

日時：2023年6月16日(金)
11時00分～11時45分(予定)

場所：経団連会館2階「経団連ホール」
東京都千代田区大手町1-3-2

議題(予定)

1. 2022年度事業実績・2023年度事業計画
2. 2022年度決算・2023年度予算
3. 理事選任 他

※総会・理事会終了後、定時総会懇親会を開催いたします。

〔時間〕12時00分～13時00分

〔場所〕同会館2階「国際会議場」

大門 ペソ 倶楽部

Vol. 69

異常気象などといわれて
久しくなりましたが、それ
でも今年も初夏の暑さを感じ
る候となりました。統一
地方選挙で「春の全国交通
安全運動」も1カ月遅れでしたが、目下それも進行中。今春デビューを果たしたニューフェイスの方々も、それぞれの場所で落ち着いてきた頃、ではないでしょうか。

筆者の周囲でも、春先には物流会社の初任診断（入社間もない時に受診する運転適性診断）が盛況でした。実施側に立ってみてわかったことですが、若い方が多い……と思いきや、中高年で転職された方々が結構な数にのぼります。2024年問題（*）などのこともありますから、安定した物流や人流が確保されることは大変重要ですね。

筆者が現在かかわる自動車教習所の適性診断業務ではNASVA（ナスバ）ネットと呼ばれるネットワークPC式の診断機材が使用されていますが、年齢的にパソコンに慣れた方だと受診もスムーズです。1980年代、筆者の学生の頃にPCが身近でも使われ始めましたが、現在還暦を迎える位のこの年代ともなると、PC利用経験の多寡によって「得意or不得意」が分かれるようで、微妙なところでですね。また実際の受診結果を見ると、若い方は視覚的な機能なども概して良く、うらやましく思えます（メンタル面などは別の話ですが）。

良き「朱（あか）」に、染まれ

（一社）日本交通科学学会理事 吉村俊哉

欧州の運転教育（＝運転免許取得）プログラム、では“受講生に考えさせ、振り返りと気づきを重視する”コーチング、と呼ばれる技法が盛んだそうです。この開発・導入等にかかわった研究者の一人でもあるイアン・エドワースという人は「教習所の生徒は一旦試験に合格すると、学習したこと多くを忘れ、指導員が決して指導していない方法で運転しているという現実がある」と嘆いている、と聞きます。初任の方、特に運転歴や勤務歴が浅い方達には「初心忘れるべからず」で、基本のキを見失わないよう心得ていただきたいものです。

またベテランの先輩諸氏にも、知らずしらず身についた「悪い癖」まで教え伝えてはならない、と肝に銘じていただきたいと思います。

欧州の運転教育では「自己の客観視と正しい自己評価」つまり人からどう見られているか……も含め「自分がどんな運転をしていて、それを向上させるにはどうしたらよいか」を自身で考えることに重きが置かれます。それを手助けするのが「コーチ」の役割、というわけです。

「朱に交われば赤く」なります。くれぐれも「悪い赤」ではないように。

*働き方改革として時間外労働の上限規制などが2024年4月1日から適用されることにより、物流業界に生じるさまざまな問題。

日本自動車会議所会員（2023年5月15日現在）= 団体会員89、順不同 =

- 一般社団法人 日本自動車工業会
- 一般社団法人 日本自動車部品工業会
- 一般社団法人 日本自動車車体工業会
- 一般社団法人 日本自動車タイヤ協会
- 一般社団法人 日本自動車販売協会連合会
- いすゞ自動車販売店協会
- トヨタ自動車販売店協会
- 日産自動車販売協会
- U D トラックス販売協会
- 日野自動車販売店協会
- 三菱自動車販売協会
- 三菱ふそうトラック・バス販売協会
- 全国スバル自動車販売協会
- ダイハツ自動車販売協会
- 全国マツダ販売店協会
- スズキ自動車販売店協会
- ホンダ自動車販売店協会
- 一般社団法人 全国軽自動車協会連合会
- 日本自動車輸入組合
- 一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会
- 一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会
- 一般社団法人 日本自動車機械工具協会
- 公益社団法人 全日本トラック協会

- 公益社団法人 全国通運連盟
- 公益社団法人 日本バス協会
- 一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会
- 一般社団法人 全国自家用自動車協会
- 一般社団法人 日本損害保険協会
- 石油連盟
- 一般社団法人 全日本指定自動車教習所協会連合会
- 一般社団法人 全国自動車標板協議会
- 一般財団法人 自動車検査登録情報協会
- 一般社団法人 全国レンタカー協会
- 一般社団法人 日本自動車リース協会連合会
- 一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会
- 一般社団法人 自動車公正取引協議会
- 全国自動車検査登録印紙売捌人協議会
- 一般財団法人 関東陸運振興センター
- 一般社団法人 東京都トラック協会
- 一般社団法人 神奈川県トラック協会
- 一般社団法人 日本道路建設業協会
- 一般社団法人 日本ゴム工業会
- 一般社団法人 日本塗料工業会
- 一般社団法人 板硝子協会
- 日本自動車車体整備協同組合連合会
- 一般社団法人 日本交通科学学会

- 一般社団法人 日本陸送協会
- 一般社団法人 日本二輪車普及安全協会
- 一般財団法人 日本自動車研究所
- 一般社団法人 日本自動車機械器具工業会
- 特定非営利活動法人 ITS Japan
- 公益社団法人 自動車技術会
- 公益財団法人 自動車リサイクル促進センター
- 一般社団法人 日本ガス協会
- 一般社団法人 日本自動車運行管理協会
- 一般社団法人 日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会
- 一般社団法人 自動車再資源化協力機構
- 一般社団法人 自動車用品小売業協会
- 一般社団法人 日本オートオークション協議会
- 日本中古車輸出業協同組合
- 全国オートバイ協同組合連合会
- 一般社団法人 日中投資促進機構
- 一般財団法人 日本自動車査定協会
- 一般財団法人 全日本交通安全協会
- 公益財団法人 日本自動車教育振興財団
- 一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会
- 全日本自動車部品卸商協同組合
- 一般社団法人 日本自動車購入協会
- 一般社団法人 青森県自動車団体連合会

- 一般社団法人 岩手県自動車会議所
- 一般社団法人 宮城県自動車会議所
- 一般財団法人 秋田県全自動車協会
- 山形県自動車団体連合会
- 一般財団法人 福島県自動車会議所
- 東京都自動車会議所
- 一般社団法人 神奈川県自動車会議所
- 一般社団法人 静岡県自動車会議所
- 一般社団法人 愛知県自動車会議所
- 一般社団法人 岐阜県自動車会議所
- 一般社団法人 三重県自動車会議所
- 一般社団法人 富山県自動車会議所
- 一般社団法人 石川県自動車会議所
- 一般社団法人 福井県自動車会議所
- 一般社団法人 大阪自動車会議所
- 一般社団法人 徳島県自動車会議所
- 一般社団法人 香川県自動車会議所
- 愛媛県自動車会議所
- 高知県自動車会議所
- 一般財団法人 大分県自動車会議所

（ほかに企業会員75、推薦会員1）